



道南太平洋海域スケトウダラニュース

平成16年度 第3号

2004年11月1日

北海道立函館水産試験場室蘭支場

Tel: 0143-22-2327

Fax: 0143-22-7605

道南太平洋スケトウダラ計量魚探調査結果

函館水試調査船金星丸により行われたスケトウダラ計量魚探調査の結果をお知らせします。
今回の調査は、悪天候のため、渡島・胆振海域のみの調査となりました。

- ・調査期間：平成16年10月27日～10月29日
- ・調査海域：渡島・胆振の水深200～500m太平洋海域

- ・魚探反応の強い海域は、南茅部沖（海区193）、
白老・虎杖浜沖（海区182、183、185）
- ・分布水深は渡島および苫小牧以西の海域では360～450m、
苫小牧以東では水深250～400m
- ・反応の強さは9月より増加

1. 魚探反応は、南茅部沖（海区番号193）で最も強く、白老・虎杖浜沖（海区182、183、185）にも強い反応が観察されました。
2. スケトウダラと考えられる魚群は、渡島および胆振支庁の苫小牧以西海域では水深360～450mの範囲に分布しており、例年と比較して分布水深が非常に深いことが特徴です。また、大部分の調査線では日中でも海底から離れて分布していました（図2）。
3. 苫小牧以西の海域では魚群の分布水深は250～400mでした。
4. 9月の調査と比較して、各調査線の反応の強さは増加していました。
5. 今後、分布量の増加に伴って漁獲量の増加が期待できますが、分布水深が深いこと、魚群が海底から離れて分布していることからみて、本格的な増加は11月中旬以降になるものと予想されます。
6. 次回調査は11月25～12月1日の予定です。
7. スケトウダラニュースは、インターネットで函館水試のホームページ上からもご覧になれます。（スケトウダラニュース3号は11月2日より）

ホームページアドレス <http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/hakodate/>

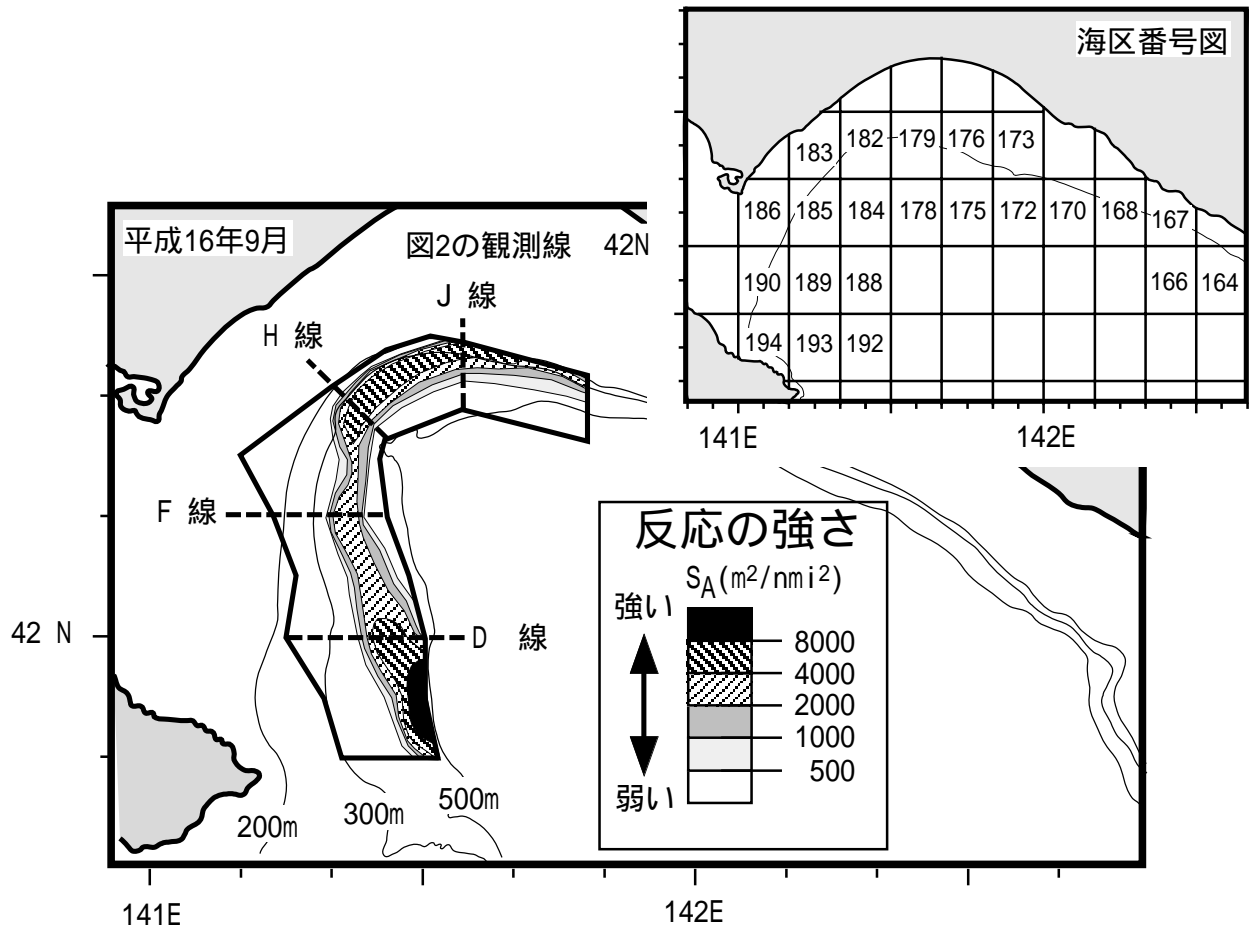


図1．調査海域における魚群の分布
黒ワクの中が調査範囲

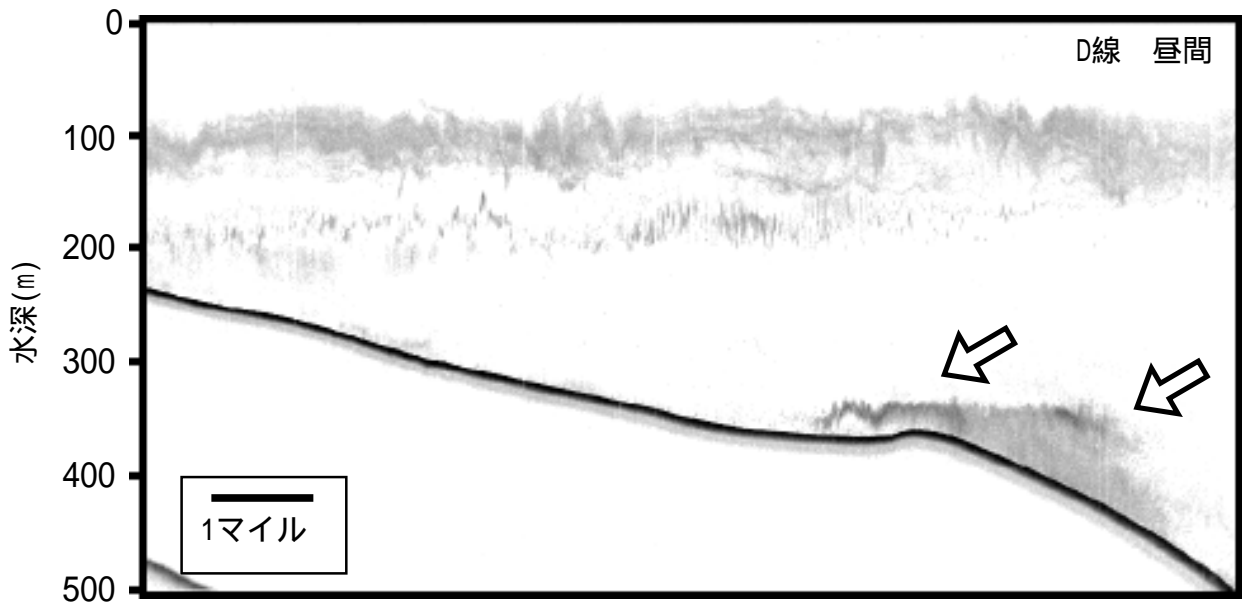


図2．魚探画像
矢印：スケトウダラと考えられる魚群

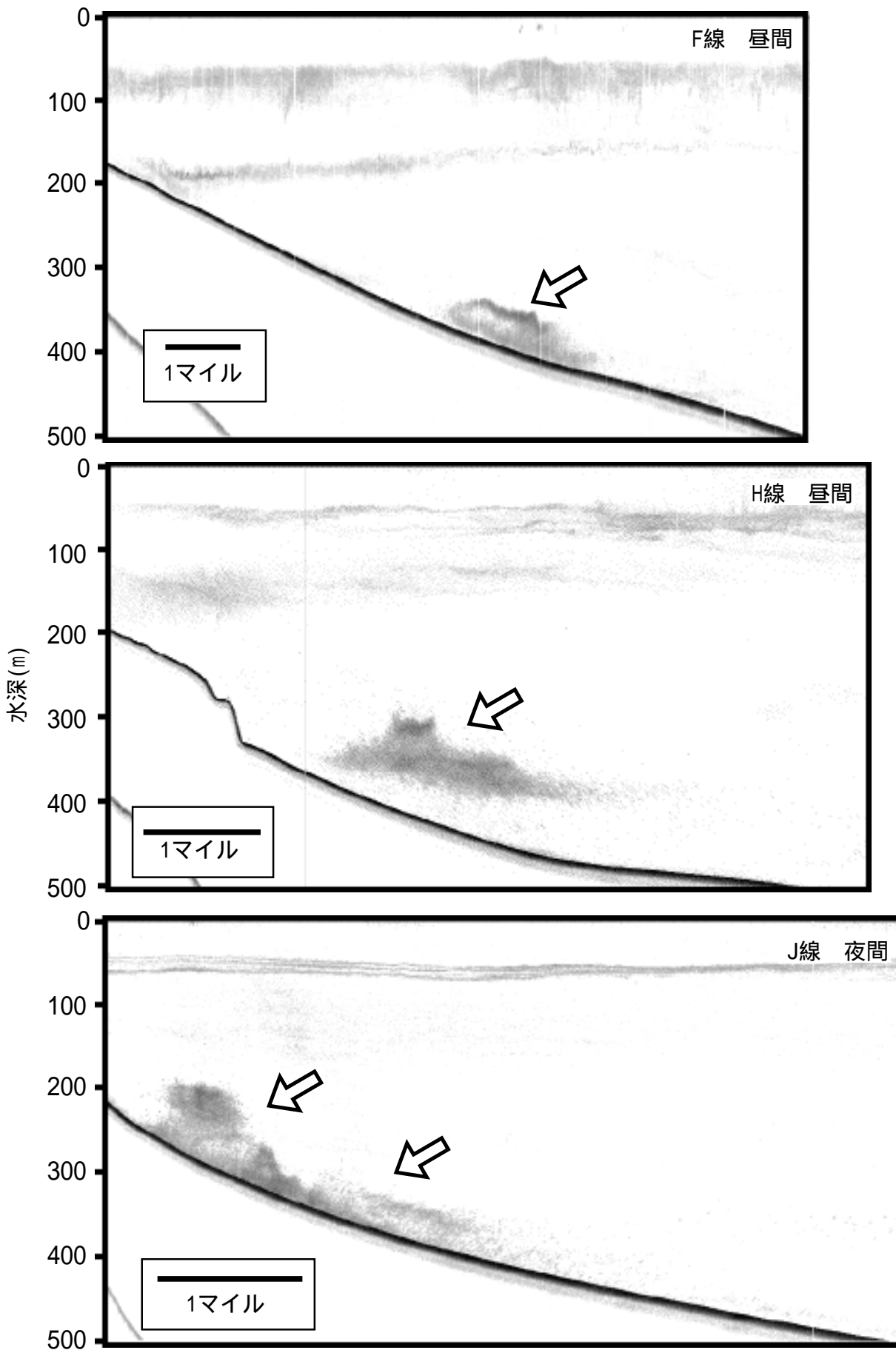


図2 . 魚探画像 つづき